

平成26年度 燕市・西蒲原郡外国語活動部 活動報告

部長 北原 利章

1 研究主題

コミュニケーション能力の素地を育てる授業のあり方

2 研究の概要

(1) 第1回 授業研究

- ①期日 平成26年6月3日(水)
- ②会場 弥彦村立弥彦小学校第5年
- ③授業者 弥彦村立弥彦小学校 教諭 清水 健一、ALT アラン・ホーン
- ④指導者 燕市教育委員会指導主事 有本 千晴 様
- ⑤授業の実際
 - ア 単元名 いろいろなものを数えよう“How many?”(Hi, friends1 Lesson3 2/4)
 - イ 単元の目標
 - ・積極的に数を数えたり、尋ねたりしようとする。
 - ・1から20までの数字の言い方や下図の尋ね方に慣れ親しむ。
 - ウ Target sentence How many～?
 - エ Word 数、文具
 - オ Game 英語を使った友達同士のゲーム
 - カ Activity ボール・カードを持ってゲーム相手を見付け、合計の数を言い合う

⑥指導の概要

- ア 燕市における新潟大学教育学部とのパートナーシッププランの進捗状況
- イ コミュニケーション能力の素地に関して、学級経営との密接な関係があり、「楽しさ」「分かって喜ぶ喜び」が伴う活動を工夫することが大切
- ウ 教科化への準備とともに、中学校区内における小中連携は一層重要

(2) 第2回 講演と実技研修

- ①期日 平成26年12月3日(水)
- ②会場 燕市立吉田小学校
- ③講師 敬和学園大学客員教授 外山 節子 様
- ④演題 中学年でも高学年でも楽しみながらコミュニケーション能力を高めることができるアクティビティ
- ⑤内容
 - ア 講演の概要
 - ・これからの英語指導 第3学年以上の必修化に向けて
 - ・多重知能理論を活用した英語活動 8つの知能のいずれかを意識した授業の構成
 - ・絵本を活用した授業計画
 - イ 実技研修
 - ・児童にカードを活用したチャンツ
 - ・季節感のあるゲーム